

このサポートブックを入手するには

「がん診療連携拠点病院」・「群馬県がん診療連携推進病院」
のがん相談支援センター及び各市町村担当課にて、
希望者にお配りしています。

WEB版

はこちら



@takeshi0411

署 名 **ぐんまの安心がんサポートブック**
～サポートブックはサポートします～(第14版)

発行年月 令和7年3月

発 行 群馬県

編 集 群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
電話 027-226-2614 (直通)
FAX 027-243-2044

協 力 群馬県医師会
群馬県薬剤師会
群馬県がん患者団体連絡協議会
群馬県がん対策推進協議会
群馬県がん診療連携協議会
群馬県がんピアサポーター有志

写 真 群馬県の魅力を発信するSNS投稿事業「ぐんま応援びと」
(<https://www.pref.gunma.jp/page/16064.html>)

～サポートブックはサポートします～

大切なあなたの心が 少しでも和らぐことを願って

このサポートブックは、がんと診断された方、がんを治療中の方、がんの再発に不安を感じている方や、家族のがんを心配されている方に役立つ情報を、わかりやすくまとめています。（特に記載がない場合は、令和7年3月現在の情報）

様々な立場の方々により、どのようにがん患者さんをサポートするのが書かれています。

県民の皆さんにも、是非、このサポートブックを読んで、がんのことを考えていただき、地域や職場も一体となって「支え合う社会」をつくりましょう。

群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課

前橋市

@chao.2416

目次

フローチャート

がんの 疑い

第1章 がんが心配なとき～あなたを支えるかかりつけ医・かかりつけ薬剤師～

- ・あなたを支える「かかりつけ医」 1ページ
- ・薬局は、薬や健康のことを相談できるパートナーです 4ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ①がんが与えてくれたもの「出会いと感謝」 5ページ

がんの 診療

第2章 がんの診断～がん診療を行う病院と相談支援センター～

- 1がんと診断されたら
 - ・知っておきたい 医師のアドバイス「上手な医療機関のかかり方」 7ページ
- 2がんの診断のための検査
 - ・画像診断、細胞や組織の検査、血液検査 9ページ
- 3がんの診療を行う病院と相談支援センター
 - ・がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院概要、小児がん連携病院、がんゲノム医療連携病院概要、一覧、地図 10ページ
 - ・相談支援センター、セカンドオピニオン、がんサロン 13ページ
 - ・がん診療連携拠点病院等の相談支援センター、セカンドオピニオン、がんサロン等紹介 14ページ
 - ・アピアランスケアに関するリーフレット 32ページ
 - ・よくある問い合わせ～がん相談支援センター相談員より～ 33ページ
- 4がんの治療と仕事の両立を支援します
 - ・さんぽセンターでの治療と仕事の両立支援について 35ページ
 - ・ハローワークでの治療と仕事の両立支援について 36ページ
 - ・がん相談支援センターでの治療と仕事の両立支援について 37ページ
- 5がん治療と妊娠について
 - ・AYA世代のがん治療と子どもを持つこと 38ページ
 - ・妊よう性温存療法について 39ページ

治療の 準備

治療の 開始

第3章 がんの治療～がんの治療方法、セカンドオピニオン、自宅での療養～

- 6がんの治療
 - ・治療法を考える 41ページ
 - ・免疫療法 47ページ
 - ・がんゲノム医療 49ページ
 - ・がんの再発・転移 50ページ
 - ・がんの補完代替療法について 51ページ
 - ・がん治療と歯科治療について 52ページ
 - ・希少がんの相談窓口について 53ページ
 - ・セカンドオピニオン～治療方針に悩んだら～ 54ページ



7「緩和ケア」～がんと診断された時から～

- ・「緩和ケア」を知っていますか？ 55ページ
- ・緩和ケアチーム・緩和ケア病棟 55ページ
- ・緩和ケア病棟の紹介 56ページ

8自宅で過ごす

- ・家でよりよい日々を送りたい 59ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ②「治療法について」 61ページ

支え 合い

第4章 退院後の生活～病院と地元医療機関の連携・サポート制度～

9病院と地元の医療機関が連携しています

- ・地域連携クリティカルパスについて 63ページ
- ・がん患者さんの在宅療養を支える病院・診療所一覧 64ページ

10療養生活を送る上での困りごと

- ・お金のサポート制度 68ページ
- ・生活のサポート制度 70ページ
- ・地域包括支援センター 72ページ
- ・若年がん患者在宅療養支援事業 73ページ

第5章 支え合える仲間～患者団体とがんサロン～

11支え合える仲間

- ・がん患者団体～仲間におおう～ 群馬県がん患者団体連絡協議会 75ページ
- ・がん患者団体、主催するサロンの紹介 76ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ③心が軽く～サロンでの仲間との出会い～ 88ページ
- ・参考「情報を探す」HP・冊子のご紹介 89ページ

第6章 小児・AYA世代のがん

12小児およびAYA世代のがん 91ページ

13小児・AYA世代向けがんサロンの紹介 95ページ

14群馬県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法等助成事業のご案内 96ページ

◆群馬県のがん対策に協力する企業等 98ページ

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまにご参加ください

リレー・フォー・ライフは、がんと闘う方々の勇気をたたえ、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがんと闘う連帯感を育み、がんで悩むことのない社会を実現するために、夜通し交代で歩きながら行うチャリティイベントです。

1985年、アメリカ・ワシントン州のタコマで、一人の医師が陸上競技場のトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募ったことが、このリレー・フォー・ライフのはじまりです。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し、がん患者を支援するためでした。現在、世界34か国2,460か所で開催、日本全国でも約50か所で開催されています。

群馬県では、2013年に初めて開催されて以来、多くの企業や関係団体からご支援をいただき、参加者数・募金額ともに全国最大級の規模に成長しています。

12年目となった今年は、がんを正しく学び、また、医師とサバイバーの交流の機会として、ドクター講座をサバイバーズテントにおいて開催しました。

秋晴れの下、歩き始めた参加者のリレーは、翌朝、空がドーンパープルに明け始める頃になっても、途切れることがありませんでした。

来年の再会を約束し合って、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんまは無事に終了となりました。

このイベントはどなたでも参加できます。ご都合に合わせて、短い時間でも構いません。

がんに負けない群馬をつくるため、多くの皆様のご参加をお待ちしています！



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま



リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま

実行委員長 大島 主好

(事務局 群馬県健康づくり財団 企画広報課)